

北見市民環境フォーラムで講演

北見市民環境フォーラム実行委員会から今年度は「森林環境について学び、市民ができることについて考えること」を目的に、フォーラムを計画し、その際の講演の依頼がありました。

そこで、平成25年11月17日(日)に、オホーツク木のプラザにおいて、「森林を考える」をテーマに、常呂川森林ふれあい推進センター所長の菊地と、NPO法人「森の生活」代表の麻生翼氏が講演者となって行われました。

最初に私の題目である「森づくり支援と私たちにできること」について、昨今の地球温暖化に伴う災害の話から、森づくりボランティア活動がいかに大切な行動であるか、また、木材利用ポイントやボランティア活動における資金面での支援方法などを話し、少しでも森づくりの支援になればと話しました。



続けて、麻生氏より、下川町で行っているゼロエミッションの木材加工の話や森林環境教育で、幼児から高校生まで一貫したカリキュラムによる自然体験プログラムなどについてお話がありました。



また、続けて、ワークショップとして「北見の自然を生かしてやってみよう活動」について、参加者同士で話し合いを行い、かなり、盛り上がっていました。

今回、参加者は約70名おり、潜在的に、森林づくりに興味を持っている方々がいることがよく判りました。今後も、このような機会がもっと増えると少しずつでも森林づくりの応援者が増えることとなると考えます。

そこで、常呂川森林ふれあい推進センターでも、12月7日に「オホーツクの森林ボランティア活動報告会」を用意しておりますので、ぜひ、一人でも多くの方に聞きに来てほしいと思います。